大阪市会本会議を傍聴する

猛暑とコロナ禍のなかで、大阪市会の「臨時会」が始まった。18 日は本会議であり、9 月 3 日までの会期決定後、松井市長が議案の提案を始めたとき、傍聴席から「抗議」の声が上がった。議場が騒然となり、多くの議員や市長らが議場から退席した。

大阪市会

会議の傍聴自粛のお願い（新型コロナウイルス関係）

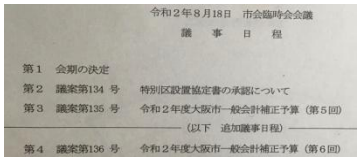
新型コロナウイルス感染の予防及び拡大防止のため、当面の間、本会議・委員会の傍聴については極力ご遠慮くださいますようお願いします。
なお、本会議及び委員会の模様はインターネット中継でご覧いただけます。

令和２年８・９月市会（臨時会）日程

8月	11（火）	＜ 招集告示 ＞
	18（火）	＜ 開会 ＞本会議
	21（金）	本会議【代表質疑】
	24（月）	本会議【代表質疑】
	26（水）27（木）28（金）31（月）	常任委員会
9月	3（木）	本会議＜閉会＞

※日程は変更される場合があります。

※ 本会議は、午後２時開会予定です。
※ 委員会は、午後１時開会予定です。
※ 本会議・委員会の模様は、市役所内でモニター放映をいたします。あわせて、市役所ホームページにおいても生中継及び録画放映をいたします。



令和２年８月18日　市会臨時会会議

議　事　日　程

第１　会期の決定
第２　議案第134 号　特別区設置協定書の承認について
第３　議案第135 号　令和２年度大阪市一般会計補正予算（第５回）
（以下　追加議事日程）
第４　議案第136 号　令和２年度大阪市一般会計補正予算（第６回）

私も傍聴席の前列に座り、事態をじっと見つめていた。今回の「臨時会」は政令指定都市である大阪市を廃止し、4 特別区に分割する「協定書」の承認が主要議題であり、大阪市会を初めて傍聴することに。昨年 6 月から「法定協議会」を毎回傍聴してきたが、市会と本会議場はまた違う雰囲気だ。横長に広い傍聴席前列に、新型コロナ感染防止のため間隔をあけて着席した。

14 時に始まった本会議はたちまち「休会」となり、原稿に目を通しながら開会を待っていたが 15 時半過ぎに退席した。あとから聞くと 16 時 45 分ごろ再開され、すぐに議事終了となったという。

写真下は NHK ニュースである。〝都構想反対〟不規則発言、審議中断とあり、退席する松井市長の姿が映っている。市会後の記者会見で、松井市長は 11 月 1 日に住民投票を実施したい考えで、新型コロナ感染状況を踏まえて最終判断するという。大阪府会も今日から開会となった。字幕に「協定書承認なら 住民投票 11 月 1 日実施めざす」とあり、吉村知事が府会後に投票は「民主主義の根幹として」などと発言している。

大阪は新型コロナ感染による重症患者、死者も急増している。まさにコロナ危機だ。なぜ、コンナ(コロナ)大変なときに、大阪市廃止・特別区設置の是非を問う、住民投票に向け猛進するのか。大阪府市がそれぞれの役割を発揮して、コロナ対策に全力を集中するのが、住民の命と暮らしを守る地方自治体としての責務ではないのか。不要不急の住民投票のための予算を、緊急を要するコロナ対策に回すべきではないのか。

吉村知事によれば住民投票は「民主主義の根幹」というが、大阪市廃止の是非を問う住民投票は、任期が決まっている通常の選挙とは違う。大阪維新の会などの政策を実現するための「手段」であり、投票の時期には裁量の余地がある。11 月 1 日住民投票にこだわるのは、コロナの混乱に乗じた「抜け駆け」ではないか。住民投票の実施時期とともに、大阪市廃止・特別区設置協定書についても、コロナ危機下で再吟味を求めたい。

（2020 年 8 月 20 日）